

2023年

令和5年

# 佐賀競馬場走路設備更新工事

## 特記仕様書

佐 賀 県 競 馬 組 合  
JRAファシリティーズ株式会社

## I. 工 事 概 要

1. 工事名称	佐賀競馬場走路設備更新工事		
2. 工事場所	佐賀県鳥栖市江島町字西谷3256-228		
3. 工事範囲	本特記仕様書並びに図面に示す範囲		
4. 工事種目	1. 土工事	1 式	
	2. 馬場施設工事	1 式	
	3. 撤去工事	1 式	
	共通仮設費( I )	1 式	
5. 工事概要	本工事は本走路及び練習走路の馬場柵を更新するものである。		
6. 添付図書	特記仕様書	1 通	
	図 面	13 枚	

## Ⅱ. 工事内容

\* 数量は約数とする

名 称	内 容	単位	数 量	備 考
1. 路盤工事				
クッション砂 敷均し	クッション砂 t=10cm (撤去材)	m3	375	
残土処分	発生土	m3	116	
2. 馬場施設工事				
馬場柵	本走路 外柵 PVC製	m	1,394.2	
馬場柵	本走路 内柵 PVC製	m	1,057.4	
馬場柵	練習走路 内柵 PVC製	m	935.7	
馬道柵	本走路 外柵 PVC製	m	40.4	
出入口柵A	スライド柵 W=1.5m PVC製	箇所	1	
出入口柵B	スライド柵 W=2.5m PVC製	箇所	1	
出入口柵C	スライド柵 W=4.0m PVC製	箇所	3	中間支柱有
出入口柵D	掛柵 W=5.0m PVC製	箇所	1	
出入口柵E	スライド柵 W=5.0m PVC製	箇所	1	中間支柱有
出入口柵F	スライド柵 W=6.0m PVC製	箇所	7	中間支柱有
出入口柵G	スライド柵 W=7.0m PVC製	箇所	1	中間支柱有
出入口柵H	スライド柵 W=8.0m PVC製	箇所	1	中間支柱有
出入口柵I	片開 W=6.0m PVC製	箇所	1	
出入口柵J1	両開 W=6.0m(3.0m+3.0m) PVC製	箇所	6	
出入口柵J2	両開 W=6.0m(2.0m+4.0m) PVC製	箇所	1	
出入口柵K1	両開 W=8.0m(3.0m+5.0m) PVC製	箇所	1	
出入口柵K2	両開 W=8.0m(5.0m+3.0m) PVC製	箇所	1	
出入口柵L	両開 W=9.0m(5.0m+4.0m) PVC製	箇所	1	
緩衝ゴム	φ 450	箇所	10	
砂止めマット固定		式	1	
3. 撤去工事				
殻運搬処分	FRP	空m3	85	
緩衝ゴム撤去処分	プラスチック	箇所	6	参考 7.5kg/個
クッション砂 撤去	本走路	m3	259	撤去材流用
クッション砂 撤去	練習走路	m3	116	
馬場柵(直線)撤去	本走路 外柵 FRP製	m	793.6	
馬場柵(直線)撤去	本走路 内柵 FRP製	m	590.0	
馬場柵(直線)撤去	練習走路 内柵 FRP製	m	500.0	
馬場柵(曲線)撤去	本走路 外柵 FRP製	m	603.0	
馬場柵(曲線)撤去	本走路 内柵 FRP製	m	603.2	
馬場柵(曲線)撤去	練習走路 内柵 FRP製	m	466.3	

### Ⅲ. 特 記 事 項

#### 1. 総 則

仕様書の適用	<p>本特記仕様書に記載なき事項は、国土交通省共通仕様書・土木工事請負必携(いずれも最新版)を適用する。</p> <p>その他、不明な事項については、監督員の指示または承諾を受けるものとする。</p>
地中埋設物の防護及び補修	<p>掘削に先立ち、監督員から地中埋設の有無を確認また調査し、必要に応じ試験掘を行う等して埋設物の種類、位置を確認すること。</p> <p>埋設物に対しては、その機能を阻害しないよう適切な防護工を施さなければならない。</p> <p>埋設物に損傷を与えたり、施工上の都合から取壊しまたは移設を行う場合は、監督員の指示に従い、工事請負人の負担において復旧しなければならない。</p>
隣接構造物及び地域の保護	<p>工事に当たっては、交差鉄道、道路、隣接構造物及び地域に対して十分な対策を行うこと。工事中の不注意により隣接構造物に損傷を与えた場合、または工事中の騒音、振動等により近隣地域より苦情を訴えられた場合の処置は、原則として請負人において解決するものとする。また、必要に応じ近隣住民の生活環境保全のため、協議・工事説明会を実施するものとする。</p>
現場復旧及び跡片付け	<p>工事に支障となる既設物その他の支障物件は写真にて記録し、承認を得た後に丁寧に取り除き、工事進捗にともなって復旧すべきものは監督員の指示に従って速やかに原形復旧するものとする。</p> <p>跡片付けは、工事期間内に完全に終わらせなければならない。</p>
植栽、街路樹等の保護	<p>工事範囲内外の植栽、樹木及び街路樹等を工事車両、材料搬入車両等によって損傷しないように十分注意しなければならない。損傷を与えた場合は、監督員の指示に従って手当てを施すものとする。</p>
騒音・振動の防止	<p>工事による騒音・振動は、施工法・機械の選択・配置・時間帯・工程管理を十分検討し、最小限にするよう努めること。近隣地域から苦情を訴えられた場合は、速やかに作業を中止し対策を検討し、監督員と協議すること。</p>

禁 止 事 項	仮設道路、材料搬入路、作業員通路等は本場の指示した場所以外を使用してはならない。また、工事関係車両は本場が指定した場所以外のところへ駐車したり、乗り入れたりしてはならない。
撤 去 材 処 分	撤去等により発生した有価物件は、監督員の指示する場所に集積し確認を得ること。
建設リサイクル法等の遵守	<p>◆ 建設工事に係る資材などの再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）</p> <p>◆ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）</p> <p>◆ 資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）</p> <p>特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の促進に関する基本方針（建設リサイクル基本方針）等の建設リサイクル関連法を遵守し、分別解体等、再資源化等の実施、建設副産物発生抑制、減量化、現場における標識の掲示等を行わなければならない。事前に再資源利用促進計画、再生資源利用計画、廃棄物処理計画を行い、監督員の承諾を得ること。また、現場における建設副産物対策の責任者を明確にし、下請け業者に対する周知徹底と明確な指導を行わなければならない。建設廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分について、それぞれ許可された業者と書面により契約を行い、マニフェスト（産業廃棄物管理票）等で処理が適切に行われたか確認すること。</p>
残 土 処 分 ・ ガ ラ 処 分 等	「建設工事に係る再資源化等に関する法律」に基づき、公的認可処分場にて所定の手続きにより、適正に処分すること。
建設機械の選定	使用機械は、排出ガス浄化装置を備えた排出ガス対策型建設機械とすること。
施 工 管 理	<p>a. 工事会議 工程・施工計画・諸打合せ等の会議は監督員との打合せの上決定する。</p> <p>b. 設計変更及び追加工事 設計変更及び追加工事が在る場合は、監督員と打合せ着手前に見積書を提出し、監督員の承諾を得た後に施工にかかる。承諾なく施工した場合は、工事金額が増額になっても認めない。また、減額の場合は、査定により減額処理を行う。</p> <p>c. 災害対策 1. 保安・火災・衛生等の責任者を定め、文書をもって報告すること。 2. 災害を受けた場合は、調査報告書及び復旧対策書を提出すること。</p>
竣 工 図	竣工図の提出部数及びデータは監督員の指示による。

工 事 写 真

カラーA4サイズのクリアファイルにて1部提出すること。  
なお、監督員の指示により、竣工写真を求める場合がある。

そ の 他

- 1) 施工に際して不明瞭な点が生じた場合は事前に監督員に報告し、指示をうけること。
- 2) 仮設路は常に管理を行い、現場及び道路への土砂等の散乱に注意し、清掃しなければならない。
- 3) 工事に必要な関係官庁への手続きは原則として請負人が行い、必ず監督員に報告すること。
- 4) 工事期間中に出入りする作業員及び工事車両については、着工前に作業員名簿、工事車両リスト、工事車両通行証の見本を監督員に提出すること。
- 5) 一般の通行に面した出入口には交通整理員を配置するとともに、工事時間外は、完全に閉鎖施錠をし、場内警備責任者に毎日連絡すること。  
場内警備責任者との連絡を密にし、警備上の問題を起こさないようにすること。
- 6) 搬出入車両について、ダンプトラック等の通行は周辺の通行禁止区域に注意し経路を定めること。周辺道路のダンプ通行に際しては、過積載・積載物落下・タイヤの泥汚れ等一切無きよう細心の注意を払うこと。  
また早朝に周辺道路にて待機することも厳禁とする。
- 7) 翌日の調教に支障のないよう作業終了後の資機材等の置場については、監督員と協議すること。また、日々の作業終了後は、現場内に忘れ物、柵の閉め忘れ等無きよう請負人の責において厳重に確認すること。
- 8) 競馬関係車両の通行路を確保すること。
- 9) 作業可能時間は、調教が終わる10時以降から18時を基本とする。

## 2. 材 料

一 般 事 項	使用材料は、試験結果及び見本品を提出し、監督員の承諾を得るものとする。 なお、JIS規格のあるものはこれを適用するものとする。
代 用 材 料	指定された材料の入手がはなはだ困難な場合は、監督員の承諾を受けてこれに相当する材料を使用することができる。
ク ッ シ ョ ン 砂	馬場の表層に使用するもので、撤去したクッション砂を再利用するものとする。
馬 場 ・ 馬 道 柵	Fornells社の製品(PVC製)、または同等品以上のものとする。
出 入 口 柵	Fornells社の製品(PVC製)及びメッキ鋼板、または同等品以上のものとする。
緩 衝 ゴ ム	以下の性能を有する緩衝ゴムまたは同等品以上のものとする。

試験項目		単位	試験結果
常 態 物 性	硬さ	度	70
	100%引張応力	Mpa	2.16
	引張強さ	Mpa	7.41
	引裂強さ	N/mm	25.6
	伸び	%	540
老 化 試 験	かたさ変化	ポイント	+5
	100%引張応力	%	+23.6
	引張強さ変化率	%	+3.6
	伸び変化率	%	-7.4
圧縮永久ひずみ		%	59.0

### 3. 施 工

#### 1) 一 般 施 工

測 量 ・ 遣 方	必要な基準点は十分な防護を施すか、正確な引照点を設置すること。また、遣方設置後及び次の工程に着手する前は必ず監督員の指示を受けること。丁張は常時点検を行い、整備に努めること。
作 業 計 画	施工に先立ち詳細な施工計画を行い、工事内容、特性を把握周知すること。

#### 2) 土 工 事

ク ッ シ ョ ン 砂 敷 均 し	所定の厚みに均一に敷均すこと。
----------------------	-----------------

#### 3) 馬 場 施 設 工 事

馬 場 ・ 馬 道 柵 出 入 口 柵	単管を所定の位置、深さに打ち込み、その単管に支柱を建て、笠木を通りよく設置すること。翌日の調教に支障の無いよう撤去・新設を行うこと。新・旧の取付け部は凹凸が無いように保護材を施すこと。 施工に際しては専門技術者の指導を受けること。
緩 衝 ゴ ム	競走馬の安全確保のため、競走馬の通路となる馬場柵出入口、馬場柵の折れ点に設置すること。

#### 4) 撤 去 工 事

撤 去 工	撤去構造物以外に損傷を与えないよう、また再用品のある場合は特に丁寧に取り壊し撤去材は場外自由処分とする。 図示以外の支障となる構造物も全て撤去するものとする。
馬 場 柵 撤 去	馬場柵は、ボルト・ナットを紛失しないよう、また、地中に支柱が残らないよう丁寧に撤去し、場外適正処分とする。 支柱の穴は十分に締め固めつつ埋戻しすること。



## 共通仮設工事

公 害 対 策	騒音、振動、粉じん等の対策に努めるとともに、工事用道路については散水等維持管理すると同時に出入口には洗車装置を配置して、一般道路に土砂の進入を防止すること。
散 水 車	馬場柵工事において砂塵や粉塵が競馬場周辺の民家や道路等に影響しないよう必要に応じて散水すること。
そ の 他	その他必要と思われる仮設については、請負者の判断において行うこと。